

# 厚生委員会情報連絡

令和5年9月27日

情報連絡事項	頁
1 東京女子医科大学附属足立医療センター運営及び地域連携協議会の開催結果報告について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 11月の糖尿病月間の取組みについて・・・・・・・・・・・・・・・・	5

(衛 生 部)

# 厚生委員会情報連絡一覧表

令和5年9月27日

件名	内容	日時及び場所	PRの方法
<p><b>1 東京女子医科大学附属足立医療センター運営及び地域連携協議会の開催結果報告について</b></p> <p>所管課 【衛生管理課】</p>	<p>東京女子医科大学附属足立医療センター運営及び地域連携協議会について、第8回協議会を開催した。</p> <p><b>1 議題</b></p> <p>(1) 東京女子医科大学の財務状況について（芳木公認会計士事務所）</p> <p>(2) 足立区大学病院施設等整備費補助金交付審査会の結果及び補助金の交付について（先進高額医療機器）（足立区）</p> <p>(3) 東京女子医科大学附属足立医療センターにおける先進高額医療機器の稼働状況について（東京女子医科大学附属足立医療センター）</p> <p>(4) 東京女子医科大学附属足立医療センターにおける令和4年1月1日から令和5年6月30日までの外来患者数、病床稼働率及び医師数、看護師数等について（東京女子医科大学附属足立医療センター）</p> <p>(5) 足立区医師会における東京女子医科大学附属足立医療センター診療部医師との顔の見える交流会の進捗について（足立区医師会）</p> <p>(6) 「すこやかプラザ あだち」について（足立区）</p> <p>(7) 保健センターの管轄変更について（足立区）</p>	<p>令和5年 9月4日（月） 午後7時30分～</p> <p>足立区役所8階 特別会議室</p>	

# 厚生委員会情報連絡一覧表

令和5年9月27日

件名	内容	日時及び場所	PRの方法
	<p><b>2 参加委員等</b> 計16名</p> <p>(1) 足立区医師会 3名</p> <p>(2) 東京都足立区歯科医師会 1名</p> <p>(3) 足立区薬剤師会 2名</p> <p>(4) 地域住民の代表 2名</p> <p>(5) 東京女子医科大学附属足立医療センター 4名</p> <p>(6) 足立区 4名</p> <p>ア 長谷川副区長（協議会会長）</p> <p>イ 工藤副区長</p> <p>ウ 政策経営部長</p> <p>エ 衛生部長</p> <p>(7) オブザーバー（公認会計士） 1名</p> <p><b>3 主な意見</b></p> <p>(1) 公認会計士より、法人全体の令和4年度の財務状況は、新型コロナウイルス感染症終息と相俟って全体として改善に向かっており、財務上指摘すべき重要な問題点はないとの意見があった。</p> <p>(2) 東京女子医科大学附属足立医療センターより、足立区の補助金対象となった19機種の機器について順調に稼働しており、導入した機器を利用し地域住民の方へ貢献していきたいと考えているとの意見があった。</p>		

# 厚生委員会情報連絡一覧表

令和5年9月27日

件名	内容	日時及び場所	PRの方法
	<p>(3) 医師会より、今回、補助金交付審査会時に確認した機器の稼働状況を知ることができ、今まで以上に導入した機器を活用してもらいたいとの意見があった。</p> <p>(4) 歯科医師会より、足立医療センターの先生と顔の見える関係づくりが進み、専門治療が必要な難病患者をよりスムーズに足立医療センターに紹介できたとの報告があった。</p> <p>(5) 薬剤師会より、足立医療センター薬剤部と2か月に1回研修会を開催し、お互い参加することで顔の見える関係が構築できているとの報告があった。</p> <p>(6) 地元住民代表より、足立医療センターの運営がどのようになっているか具体的に分かったので、地域の会議の中でも積極的に周知したいとの意見があった。</p> <p><b>4 今後の予定</b></p> <p>今後も区民及び地域の医療関係者等の意見を病院運営へ反映させるために、東京女子医科大学附属足立医療センターと協議を重ね、連携を図っていく。</p>		

# 厚生委員会情報連絡一覧表

令和5年9月27日

件名	内容	日時及び場所	PRの方法
<p><b>2 11月の糖尿病月間の取り組みについて</b></p> <p>所管課 【こころとからだの健康づくり課】</p>	<p>11月14日は「世界糖尿病デー」であり、区ではそれに合わせ、11月を糖尿病月間として、以下の事業を実施する。</p> <p>今年度は、主な対象を30～40代の男性とし、自分の身体の状態やリスクについて「知る」機会を提供し、予防として食生活の改善や身体を動かすことなどの「行動」を起こすきっかけをつくることで、糖尿病に対する啓発を行う。</p> <p><b>1 テーマ</b> 「小さな1歩が、未来を変える！」</p> <p><b>2 主な事業（予定）</b></p> <p>(1) 『自分の身体を知る』 自分の身体の状態や健康リスクに気づく機会を提供する。</p> <p>ア 各種測定事業</p> <p>(ア) 親子や働き世代が集まる場所で、推定野菜摂取量測定や体組成測定、血糖測定等を実施。 例：(各所調整中) ギャラクシティ、健康経営支援事業所、図書館、商店街、商業施設等</p> <p>(イ) 関連事業の周知 区内13薬局でのヘモグロビンA1c測定、スマホdeドック、40歳前の健康づくり健診。</p> <p>イ リスクチェックの掲載（リーフレット）</p>	<p>令和5年 11月1日（水） ～11月30日（木）</p> <p>区内各所</p>	<p>区広報紙、区ホームページ、SNS掲載</p> <p>リーフレット配布、ポスター掲示</p>

# 厚生委員会情報連絡一覧表

令和5年9月27日

	<p>(2) 『健康のために行動する』 未来の健康のため、行動を起こすきっかけをつくる。</p> <p><b>プレゼント企画</b> <b>「ベジ×運動で健康に！(案)」</b></p> <p>ア 目的 従来の「ベジタベ」に加え、糖尿病予防としての「食生活改善」や「運動」に取り組んでもらうきっかけをつくる。</p> <p>イ 内容 食生活または運動に関する取組みを実施し、達成したら区申請フォームやはがきで応募。抽選で健康グッズ等のプレゼントを贈呈する。</p> <p><u>ステップ1</u>：基本企画（必須） ベジタベライフや糖尿病に関するクイズ</p> <p><u>ステップ2</u>：選択企画</p> <p>① 食生活に関する取組み ② 運動に関する取組み</p> <p>※ ほぼ同時期に行われるスポーツ振興課主催の「あだちウォーキングチャレンジ」（7日間、1日8000歩以上）について、相互に企画を紹介し、条件を満たせば各々の企画への応募を可とする。</p> <p>(3) スーパー、コンビニ等民間企業との連携 若い世代が自ずと野菜たっぷりの弁当や総菜を選択できるよう企業と連携した啓発を行う。</p>		
--	---	--	--

# 厚生委員会情報連絡一覧表

令和5年9月27日

	<p><b>3 広報・周知（予定）</b></p> <p>(1) あだち広報 10 / 25号</p> <p>(2) リーフレット配布(12,000部) 及びポスター掲示(900枚) ア 区内主要駅 イ 元気な職場づくり応援事業所 ウ 保健センター、区民事務所等 の区の施設 エ 足立成和信用金庫、明治安田 生命保険相互会社等 オ ワーク・ライフ・バランス認 定企業 カ 医療機関、薬局 キ ギャラクシティ、生物園、都 市農業公園 など</p> <p>(3) 区ホームページ、A-メール、 LINE、X(旧Twitter)、Facebook、 ビュー坊テレビ</p>		
--	---	--	--